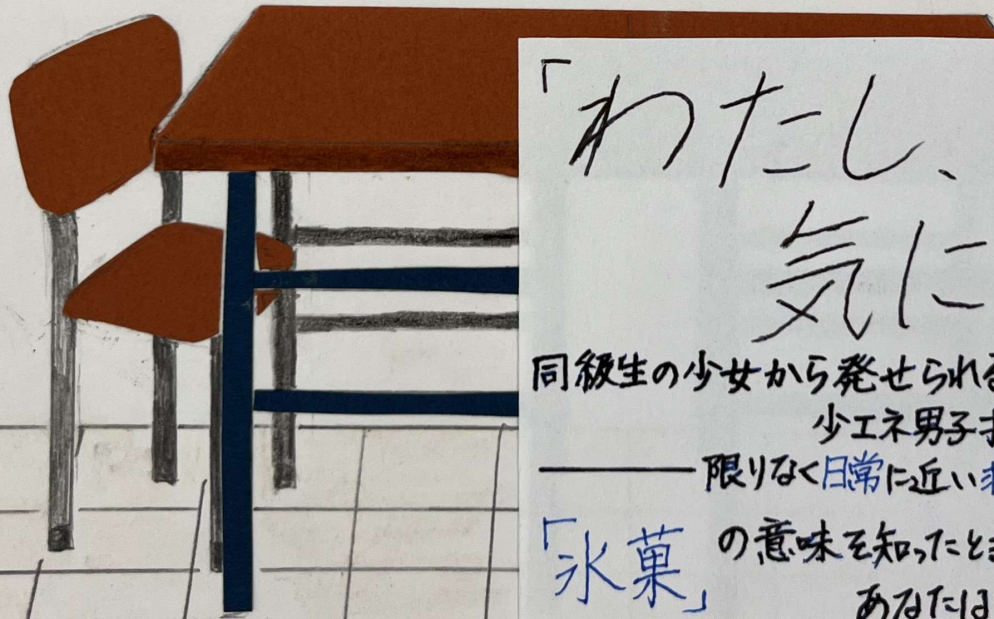


氷菓

米澤穂信^著
角川文庫



「わたし、
気になります！」

同級生の少女から発せられるその言葉で、
少エネ男子折木奉太郎の高校生活は大きく変わる。
—— 限りなく日常に近い非日常を味わうことができる。

「氷菓」の意味を知ったとき、
あなたには既にこの作品の虜になっているでしょう。

青春ミステリー。